

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 11 日 (2019.7.11)

【公開番号】特開 2017-3990 (P2017-3990A)

【公開日】平成 29 年 1 月 5 日 (2017.1.5)

【年通号数】公開・登録公報 2017-001

【出願番号】特願 2016-115694 (P2016-115694)

【国際特許分類】

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 9/08 3 3 1

G 0 3 G 9/08 3 6 5

G 0 3 G 9/08 3 6 8

G 0 3 G 9/08 3 8 1

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 4 日 (2019.6.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

非晶性ポリエステル樹脂と結晶性ポリエステル樹脂とワックスを含有するトナー粒子を有するトナーであって、

透過型電子顕微鏡 (TEM) 観察による該トナーの断面において、

該ワックスのドメインと該結晶性ポリエステル樹脂の結晶が存在し、

該トナーの断面積のうち、

該ワックスのドメインが占める面積が 0.5% 以上 8.0% 以下であり、

該結晶性ポリエステル樹脂の結晶が占める面積が 0.5% 以上 8.0% 以下であり、

該ワックスのドメインの個数平均径 (D_w) が 60 nm 以上 240 nm 以下であり、

該結晶性ポリエステル樹脂の結晶は、アスペクト比が 5.0 以上 25.0 以下であり、

該結晶性ポリエステル樹脂の結晶の長軸長さの個数平均径 (D_c) が、該ワックスのドメインの個数平均径 (D_w) の 0.8 倍以上 2.0 倍以下であることを特徴とするトナー。

【請求項 2】

前記個数平均径 D_c が 280 nm 以下である請求項 1 に記載のトナー。

【請求項 3】

前記個数平均径 D_w の標準偏差が 100 nm 以下であり、前記個数平均径 D_c の標準偏差が 100 nm 以下である請求項 1 又は 2 に記載のトナー。

【請求項 4】

前記トナー粒子が、内添剤として無機微粒子を含む請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のトナー。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のトナーの製造方法であって、

前記トナー粒子を前記ワックスの融点より 40 以上高い温度で熱処理する工程を含むトナーの製造方法。